

"Hmmm...I wonder if there's a good way..."

A lion was deep in his thoughts, lying inside his den.

"I'm so hungry, but it's troublesome to go search for prey. I don't want to move. Uhhhh...Ohhh..."

The lion was thinking about a way to get prey in here without having to move.

"Hello, Mr. Lion. Did anything happen to you?"

A single deer peeked into the den from outside.



5

"Oh, well, there isn't really anything wrong..."

"Oh, that's good to hear. I was just wondering what was going on, since I heard you groan."

The deer went back feeling relieved.

(What a meddlesome deer, bothering to come here to check how I am...wait a minute, I can use this!)



「さてさて、なにか いい かんがえは
ないだろうか・・・」

らいおんは、すあなに ねころがって、
かんがえごとを していました。

「はらが へった。しかし、えさを さがしにいくのも
めんどうだ。うごきたくない。うごきたくない。
う～ん、う～ん・・・」

らいおんは、ここで よこに なったまま、
うごかないで えさを とれる ほうほうを
かんがえていました。

「こんにちは、らいおんさん。
なにか あったのですか？」

すあなの いりぐちから、
いっとうの しかが かおをのぞかせました。



「え、いや、とくに なにもないが・・・」

「なあんだ、よかった。

らいおんさんの うなりごえが きこえてきたから、
どうしたのかと おもって」

シカは あんしんして、かえっていきました。

(まったく、おせっかいな しかだな。

わざわざしんぱいして、こえを かけてくるなんて・・・
ん、まあ、これは つかえるぞ!)

